

事業評価書

補助事業名	日本原演習場関連公共用施設（交通施設：西ノ谷八軒屋線改良舗装工事）整備事業							
補助事業者名	奈義町							
実施場所	岡山県勝田郡奈義町滝本地内							
補助事業の成果の目標	町道西ノ谷八軒屋線については、既存道路が狭隘かつ未舗装であるため、車両の安全かつ円滑な通行に支障をきたしている。 このため、改良舗装工事を行うことで、車両の安全かつ円滑な通行を確保し、地域住民の生活環境の改善を図る。							
補助事業の内容	道路改良舗装工事 工事延長L=175.5m							
補助事業の始期及び終期	平成27年度から平成29年度							
事業費及び交付金額		27年度	28年度	29年度				計
	事業費	円 7,277,000	円 12,193,000	円 4,530,000	円	円	円	円 24,000,000
	交付金額	円 4,700,000	円 4,900,000	円 4,500,000	円	円	円	円 14,100,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本路線の改良舗装工事を行った結果、道路が拡幅及び舗装されたことにより、車両の安全かつ円滑な通行が確保され、近隣住民の生活環境の改善を図れた。また、聞き取りを実施した結果、「車両が通行しやすくなった。」等、全ての回答者が効果があると評価し、本路線の改良舗装工事を行ったことは、地域住民にとって必要であったとの評価を得た。 本事業が防衛省の交付金事業である旨を、町広報紙及び工事看板に記載し地域住民への周知を図った。							
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

注：2 事業評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日本原演習場関連公共用施設（交通施設：森安池南線改良舗装工事）整備事業							
補助事業者名	奈義町							
実施場所	岡山県勝田郡奈義町豊沢地内							
補助事業の成果の目標	町道森安池南線は、既存道路が狭隘であるとともに、視距が悪いため、車両の安全かつ円滑な通行に支障をきたしている。 このため、改良舗装工事を行うことで、車両の安全かつ円滑な通行を確保し、地域住民の生活環境の改善を図る。							
補助事業の内容	道路改良舗装工事 工事延長L=50.4m							
補助事業の始期及び終期	平成29年度							
事業費及び交付金額		29年度						計
	事業費	円 4,264,000	円	円	円	円	円	円 4,264,000
	交付金額	円 4,000,000	円	円	円	円	円	円 4,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本路線の改良舗装工事を行った結果、道路が拡幅され、視距が確保されたことにより、車両の安全かつ円滑な通行が確保され、近隣住民の生活環境の改善を図れた。また、聞き取りを実施した結果、「見通しがよくなり、運転しやすくなった」等、全ての回答者が効果があると評価し、本路線の改良舗装工事を行ったことは、地域住民にとって必要であったとの評価を得た。 本事業が防衛省の交付金事業である旨を、町広報紙及び工事看板に記載し地域住民への周知を図った。							
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

注：2 事業評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日本原演習場関連公共用施設（消防に関する施設：小型動力ポンプ付積載車）整備事業							
補助事業者名	奈義町							
実施場所	岡山県勝田郡奈義町上町川地内							
補助事業の成果の目標	町内の第1分団第2部（上町川地区）に配備されている消防車両は、購入後25年以上経過し、経年劣化に伴い故障や機能低下が発生しており、交換用部品も減少していることから、今後修理不能となる可能性がある。 このため、本車両を更新し、火災発生時に迅速かつ確実な消火活動が行える体制を整え、地域住民の生活環境の改善を図る。							
補助事業の内容	小型動力ポンプ付積載車 1台							
補助事業の始期及び終期	平成29年度							
事業費及び交付金額		29年度						計
	事業費	円 5,994,000	円	円	円	円	円	円 5,994,000
	交付金額	円 3,994,000	円	円	円	円	円	円 3,994,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施したことにより、火災発生時に迅速かつ確実な消火活動が行える体制が整備できた。</p> <p>また、上町川地区消防団員へ聞き取りを実施した結果、「性能が向上した」、「運転（操作）しやすくなった」、「備品が増え活動内容も増えた」等、全ての回答者から、火災発生時に迅速かつ確実な消火活動が実施できる体制が整い、地域住民の安全な生活環境が確保されたという評価を得た。</p> <p>本事業が防衛省の交付金事業である旨を、町広報紙及び車両本体に記載し、地域住民への周知を図った。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

注：2 事業評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日本原演習場関連公共用施設（教育文化施設：幼児専用車）整備事業							
補助事業者名	奈義町							
実施場所	岡山県勝田郡奈義町豊沢地内							
補助事業の成果の目標	<p>現在、町立幼稚園の通園等に使用する車両は、老朽化及び最大乗車人員数の不足により、安全かつ円滑な送迎に支障をきたしている。</p> <p>このため、新たな幼児専用車を導入することで、安全かつ円滑な送迎を実施できる体制を確保し、地域住民の生活環境の改善を図る。</p>							
補助事業の内容	幼児専用車2台導入							
補助事業の始期及び終期	平成29年度							
事業費及び交付金額		29年度						計
	事業費	円 14,187,312	円	円	円	円	円	円 14,187,312
	交付金額	円 1,000,000	円	円	円	円	円	円 1,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>幼児専用車2台を導入した結果、安全かつ円滑な送迎が実施できるようになった。また、保護者を対象にアンケート調査を実施した結果、バスが導入されてよかった、安全性能の向上した車両を使用して通園や園外保育を行うことに安心感があるとの評価を得た。</p> <p>本事業が防衛省の交付金事業である旨を、町広報紙・車両への表記・幼稚園だより・幼稚園掲示板を活用して地域住民への周知を図った。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

注：2 事業評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日本原演習場関連公共用施設（社会福祉施設：ウォーキングプール給湯熱源設備改修工事）整備事業							
補助事業者名	奈義町							
実施場所	岡山県勝田郡奈義町豊沢地内							
補助事業の成果の目標	<p>当町介護予防施設であるウォーキングプールは、設置後14年が経過し、給湯熱源設備が老朽化しているため、歩行用温水プール室内で床暖房設備が使用できない等、快適な利用に支障をきたしている。</p> <p>このため、給湯熱源設備改修工事を行うことで、快適な利用環境を回復し、地域住民の生活環境の改善を図る。</p>							
補助事業の内容	給湯熱源設備改修工事 一式							
補助事業の始期及び終期	平成29年度							
事業費及び交付金額		29年度						計
	事業費	円 30,702,240	円	円	円	円	円	円 30,702,240
	交付金額	円 28,526,000	円	円	円	円	円	円 28,526,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本施設の給湯熱源設備改修工事を行った結果、良好な利用環境を確保し、近隣住民の生活環境の改善を図れた。また、アンケート調査を実施した結果、「利用環境がよくなった」との評価を得た。</p> <p>本事業が防衛省の交付金事業である旨を、町広報紙、工事看板及び施設内掲示板に記載し地域住民への周知を図った。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

注：2 事業評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。